

ばわわ 15号

ばわわとは？

ばわ 天白を元気にする力(パワー)
わ 地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり

そんな思いがひとつになって
ばわわと名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
 情報紙「ばわわ」プロジェクト
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301
 原ターミナルビル3階
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
 http://www.tenpaku-shakyo.com
 編集 株式会社リベルタ
 〒468-0011 名古屋市天白区平針2-1111 A2ビル207号
 TEL:052-808-0429 FAX:052-808-0421
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ばわわ」へのご意見、ご感想も
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のまま読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作することを認めます。



家族、職場、学校、地域の中で、私たちは多くの人と関わりを持って生活しています。そのつながりの大切さにあらためて目を向けてみませんか。今号は「つながり」をテーマにお届けします。

ボランティア活動をする前の用具の点検

地図を見て危険箇所を把握

一人ひとりの力が明日への復興の礎になる

災害ボランティアセンター

被災者のニーズの聞き取り

ボランティアの受付

※災害ボランティアセンターは発災後、概ね3日目(72時間後)を目途に立ち上げられる予定です。被災した方がボランティアを要請する場合、災害ボランティアセンターに連絡することになりますが、臨時の電話回線を引くため、連絡先はその時点でお知らせすることになります。

「名城大学ボランティア協議会」
 災害復興ボランティア代表
 澤田 翼さん

大地震などの災害に見舞われた場合、日常生活が突然断絶された不安の中で私たちの拠り所となるのは、人と人とのつながりではないでしょうか。新潟県中越地震では、県内外から多くの方がボランティアとして、被災した人々の大きな支えとなりました。今回は、災害時のボランティア活動を円滑に行うための災害ボランティアセンターを紹介します。

名城大学は校舎の耐震性が高いため、平成15年に市から避難所として指定され、さらに平成17年、災害発生時に災害ボランティアセンターを設置するとの協定が結ばれました。災害ボランティアセンターとは、被災者のニーズに合わせてボランティアを効率・効果的に展開させるための組織で、新潟県中越地震などでも実際に立ち上げられ、復旧・復興のためのボランティア活動の支援が行われました。天白区では天白区社会福祉協議会と、防災ボランティアグループである「天白でいぶり」が中心となって運営にあたります。今年も9月に、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練が行われました。電話で被災者から、「割

れた窓ガラスを片づけてほしい」などのニーズを聞き取り、ボランティアに伝え、ボランティアが必要な用具を持って派遣先に向かうという一連の流れなどを確認しました。訓練に参加した地域住民や学生のボランティアの中には、実際に新潟などの被災地で活動した人も含まれ、訓練について活発な議論がなされました。

名城大学生のボランティア活動

住みよい地域づくりに貢献したいとの想いから、名城大学では学生たち自ら運営するボランティア協議会が立ち上がり、清掃や防犯活動、盲導犬に関するボランティア、そして災害復興ボランティアを行っています。災害ボランティアセンターが立ち上げられたときには、ボランティアとして活動する予定です。新潟県中越地震及び新潟県中越沖地震では、計13回被災地に赴き、雪かきや海岸の清掃活動、壊れた家屋の撤去作業などを行いました。「はじめは何となくボランティアをしたいという気持ちで出かけましたが、次第に地域の人との交流の大切さに気付きました。この数年で自分が成長しました」と代表の澤田さんは語り

ます。「人を助ける」という気持ちはまったくなく、逆に「ボランティアをさせていただいている」という謙虚な姿勢を忘れません。あくまでも学生の本分を守ったうえで、自分たちができることをできる範囲で行う。そうすることでボランティアが特別なことではなく、自分の生活の一部となるようです。

東海・東南海地震を見据えて

近い将来発生すると言われている東海・東南海地震では、ライフラインが寸断されたり、地域の指揮系統が機能しないことが考えられます。混乱が予測される中で、私たち住民が主体となって行動することが大切です。



ここは昭和40年代に空撮された天白区内のある場所です。答えはP.3です。



映画の感動を視覚障がい者と分かち合う

視覚障害者の情報環境を考える会〈ボイス・ケイン天白〉 天白リーダー ハマダ ヒロコ 濱田寛子さん

「シーン・ボイスガイド」をご存じですか?視覚障がい者の方が映画を楽しめるように、声で必要な情報を伝えていくガイドのことです。似たようなものとしては、テレビの「副音声」がありますが、それが録音であるのに対し、シーン・ボイスガイドは、役者の動きや場面進行を生で説明します。そのため、録音にはないやさしい温かみのある表現が可能になります。

この活動の拠点になっているボイス・ケインは、2002年に発足しました。名古屋を中心に活躍するフリーアナウンサー・岡本典子(よりこ)さんが立ち上げ、「シーンボイスガイド養成講座」を行っています。



場面を見ながら状況を伝えるボイス・ケイン天白のメンバー

現在市内近郊を含めて9つのグループ、104名が活動しています。その中の一



台詞と台詞の間に状況説明が書かれている台本

つがボイスケイン天白です。13名ほどのメンバーの年齢は30代~70代と幅広く、ボランティアで活動しています。「映画が好きで始めました」、「非力ながらもボランティア活動に参加したくて始めました」など、動機は様々です。メンバーで視覚障がい者の大塚強さん(天白区原在住)に言葉のアドバイスを受け、台本作りをしています。

リーダーの濱田さんは、「人前で話すのは大の苦手ですが、岡本さんに誘われて始めました。養成講座を受けてメンバーになってからも、2ヶ月に1回の研修会や月に2回のボイストレーニングなど常にスキルアップを行っています。少ない時間で台本作りから練習まで大変ですが、何より視覚障がい者の方からの『ありがとう』の一言に支えられてここまでやってきました」と話します。11月23日には「シーンボイスガイド付き映画上映会」が開催されました。「THE 有頂天ホテル」を上映し、28名(うち、視覚障がい者の方7名)の方が一緒に映画を楽しみました。テンポの速い作品ながらも、「簡潔でわかりやすかった」、「聞きやすい声だった」など、参加者から感想がありました。

現在、練習場所の確保が難しいことや、シーン・ボイスガイド対応の映画館が少ないことなど、活動の

幅は限られていますが、「その時々話題作をいち早く、一作でも多くご紹介できれば。また、よりの確に映画の情景等をお伝えし、その作品に描かれた喜びや悲しみをご家族や私たちと一緒に深く感じていただければ」と、濱田さんの思いは広がります。



ボイス・ケイン天白リーダー濱田さん。映画はプライベートでも頻繁に見るそう

お知らせ

ボイス・ケインではシーン・ボイスガイドを養成する講習会を毎年開いています。
 期間:平成20年4月~平成21年3月(開講初日4月11日)
 日時:毎月第2・第4金曜日 午後7時~8時30分
 場所:あいちNPO交流プラザ
 講師:岡本典子
 受講料:1ヶ月1,000円
 定員:30名(定員になり次第、締め切り)
 その他、詳しくはお問い合わせください。
シーン・ボイスガイド養成講座事務局
TEL: 834-6867
URL: <http://www.e-nakama.jp/voicecane/>



心と体が喜ぶアロマセラピーを提案する「生活考房 アイドーマ」

八事駅から歩いてすぐのところにあるハーブやエッセンシャルオイルの店「アイドーマ」。店内に一步足を踏み入れると、フワッとやさしい香りが漂ってきます。アイドーマには、約130種類ほどのエッセンシャルオイルがあり、100%ピュアなもののみ取り扱っています。「100%ピュアなものにしか香りとしての効果はありません。アロマセラピーでは本物の精油でなければ意味はありません。そのとき一瞬の心地よさだけでなく、体本来の免疫力を高めてくれる作用もピュアなものにはありますよ」と店長の須山さん。知識豊富なスタッフが自分に合ったエッセンシャルオイルを選ぶお手伝いをしてくれるのもアイドーマの魅力です。

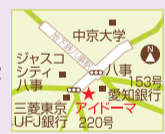


アロマセラピーなどの講座も開かれています



オイルの他、ハーブティーやオリーブを主成分にした化粧品も取り扱っています

営業時間: 午前10時~午後8時
 定休日: 年中無休
 住所: 天白区八事石坂135-2
 TEL・FAX: 836-2314
 URL: <http://aidoma-aroma.com>



お気に入りの一冊を親子で見つける「夢文庫ピコット」

「子どもが好きな絵本に出会ったときの素敵な時間」を大切にしたいという思いから、約25年前にオープンした「夢文庫ピコット」。このあたりは当時から文化的なものへの関心が高く、新しい試みもされていて、そういった雰囲気の中でお店をオープンしました。ロングセラー絵本を中心に、育児書、紙芝居、パネルシアターや音楽CD、木のおもちゃなど、子どものための商品が所狭しと並んでいます。親子で実際に絵本を手にしなから「お気に入りの一冊」にたどり着けるよう店内には小さなテーブル



鮮やかな空色が店の目印

とイスが用意されていますが、数多くの絵本の中から「一冊」を見つけるというのは現実的には難しいもの。元保育士である店長の熊崎さんは、「発達

段階や興味により、一人ひとり好きな絵本は違います。自分の経験からオススメすることができれば」と話してくれました。今度の週末には、ぜひ親子で出かけてみてはいかがでしょうか?

営業時間: 午前10時~午後7時(金曜日は午後9時まで)
 定休日: 火曜日
 住所: 天白区原1-1616 (原駅から徒歩1分)
 TEL: 803-1020
 URL: <http://www.pikot.com/>



この指とまれ! ボランティア情報

■天白おやこ子育て広場 in Winter 2008 開催予告!

「誰かのためにできること」育児中の自分にもできる社会参加がテーマです。子育て中のお父さん、お母さんぜひご参加ください!

- 日時: 平成20年2月14日(木) 午前10時~
- 募集対象: 未就園児(0~3歳)とその保護者
- 場所: 天白スポーツセンター第1・2競技場
- 内容: 子育て支援関係団体や行政機関による子育て情報や遊び、体験ブース。みんなで楽しむおやこ体操などのプログラム。

■問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/兼松 TEL:809-5550

■平成19年度福祉のまちづくりリーダー養成講座

地域に住む誰もが、安心して生き生きと暮らせるよう住民の皆さん同士で支え合う事業の実施を目指す人材を育成することを目的とした講座です。講座の内容は、事業を実施するための意識、必要とされる具体的な技術、組織運営などのノウハウを盛り込んだ内容となっています。

- 開講期間: 平成20年1月~3月(3コース有り)
- 募集定員: 各講座20名
- 受講資格: 名古屋市在住・在勤・在学の方で、名古屋市において情熱をもって地域で支え合い事業に挑戦したい方。
- 受講料: 3,000円(別途資料代等が必要な場合があります)
- 申込期間: 平成19年12月3日(月)~平成20年1月15日(火)
- 申込方法: 天白区社会福祉協議会に備え付けの所定用紙にて受付
- 問合せ先: 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉部 担当/大庭(おおば) TEL:911-3193 FAX:917-0702

■サンタクロースが「歳末たすけあい募金」の街頭募金を行いました。

12月1日(土)、平針ガーデン「元氣まつり」年末年始感謝祭にて、ボランティアがサンタクロースの衣装を着て、街頭募金を行いました。来場者と握手や記念撮影をして交流をしました。



介護のヒント お悩み相談



Q. 天白区にはどのような高齢者福祉施設がありますか。

A. 下の表のような24箇所の施設などがあります。

天白区には養護老人ホームが2箇所、特別養護老人ホームが5箇所、老人保健施設が5箇所、有料老人ホームが1箇所、グループホームが11箇所あります。平成18年、区役所福祉課を中心にこのうちの11施設が連携し、「てんぱく特養・老健ネット」を立ち上げました。施設同士が横のつながりを作ることで、地域住民の要望や相談に対応しやすくするためです。毎年9月には合同の施設情報展を区役所で開催しています。各施設のブースには入所者が制作した作品などが飾られ、職員が相談に応じてくれます。今年は2日間で115人もの来場者があり、多くの相談が寄せられる中、5箇所の特別養護老人ホームでは入所の受付を行いました。「1つずつ施設を見学するのは大変ですが、1箇所でも多くの施設の情報が得られるのはとても助かります」と、来場者にとっても好評です。

問い合わせ先 天白区役所区民福祉部福祉課 TEL:807-3887

施設の種類	天白区の施設	入所できる方(年齢・介護認定他)	入所費用(1ヶ月)
養護老人ホーム	名古屋市寿荘、誠和荘(養護)	65歳以上・自立	0円から140,000円
特別養護老人ホーム	誠和荘、千寿乃里、高坂苑、八事苑、第二八事苑	65歳以上・特定疾病は40歳以上要介護1以上	31,000円から140,000円
老人保健施設	サンタマリア、しおがま、天白老人保健施設、メディコ平針、リハビリス井の森	65歳以上・特定疾病は40歳以上要介護1以上	44,000円から190,000円
有料老人ホーム(特定施設)	アミーユ植田一本松	65歳以上・特定疾病は40歳以上要支援1以上	140,000円から350,000円 入居一時金・保証金などあり
グループホーム	グループホーム高坂苑始め11箇所	65歳以上・特定疾病は40歳以上要介護1以上・認知症と診断	120,000円から150,000円 入居一時金などあり



各施設の職員が相談に応じてくれます(施設情報展にて)

答え【名城大学】

ここはどこ?



答えは名城大学です。校舎の北東にあった池は埋め立てられてグラウンドになっています。中央にそびえる「タワー75」には展望レストランがあり、一般区民が利用することもできます。(写真は平成16年のものです)



青空の下、やみなべ交流会を開催



青空の下だとなべの味も格別です

今年も会員の親睦を深めるために、やみなべ交流会を11月17日に天白公園で開催しました。雲ひとつない青空の下、風もなく穏やかな陽気だったこともあり、総勢42名もの人でにぎわいました。おわんとはしを持参し、みんなが持ち寄った食材で、カレー・ちゃんこ・みその三種類のなべを作りました。今回、人気のあったなべは、みそ味でした。なべを囲んで話がはずみ、いろいろな人と交流できました。食後は、みんなでジェンカを踊って、楽しく過ごしました。

ふれ愛ネット天白…障がい者関係団体や福祉施設及びボランティア団体等が中心になって「誰もが安心して暮らすことのできる天白区」を目指して活動しているネットワークです。

問合せ先

「ふれ愛ネット天白」事務局(天白区社会福祉協議会内) TEL:809-5550



地域のたまり場を目指して【原っぱ物語】



特別企画のイベントでジャンベ(西アフリカの太鼓)を楽しむ参加者たち

平成18年に加藤朗さんがアパートの一室を借り上げてはじめたサロン「原っぱ物語」。現在は音楽の集いを中心とした活動をしています。作曲家のかわいけいさんとともに、毎月一回CDの鑑賞やギターの弾き語り、カラオケや音楽談義で楽しいひとときを過ごします。脳性麻痺の障がいをもつかわい

さんは、パソコンで演歌を作曲。CDも全国で販売されています。

また「原っぱ物語の小さな家」と名付けられたこの部屋は、他のいくつかのグループに貸し出されてもいます。ヘルパーさん等が集まるおしゃべりサロンや、韓国文化の趣味のサークルであったりと、本来なら接点のないグループ同士を、連絡事項を記載するノート「未来日記」が間をとりもち、「原っぱ物語の小さな家」を基点として横のつながりが作られつつあります。子どもから高齢者まで、障がいを持つ人も持たない人も、地域の住民が集まって交流できるたまり場づくりに向けて、加藤さんは活動の幅を広げていきたいと考えています。

【「原っぱ物語の小さな家」のご案内】

場所:天白区原5-901鹿島荘102
TEL:070-5640-9215(加藤朗)
FAX:052-808-6966
URL:<http://blog.livedoor.jp/harappam/>
※「原っぱ物語・音楽の集い」
日時:毎月第2日曜日の午後1時30分~4時
参加費:200円(お菓子・お茶代)
※「原っぱ物語の小さな家」の部屋を貸し出しています。会合などにお使いいただけます。詳細はお問い合わせください。
部屋使用料:3時間500円。
間取り:2K(和室6畳+洋室6畳+台所)

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金運動

みんなでささえあうあったかい地域づくり

12月1日~12月31日



歳末たすけあい運動は区内の支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができることを願って行われる区民の善意による運動です。区民のみならずのあなたのご協力をお願いします。

名古屋市天白区共同募金委員会

〒468-0015 名古屋市天白区原1-301

原ターミナルビル3階(天白区社会福祉協議会内)

TEL 052-809-5550 FAX 052-809-5551

赤い羽根共同募金の使い道などの情報につきましては、ホームページをご覧ください。

<http://akaihane.or.jp>

一緒に赤い羽根共同募金活動をしませんか?

自動販売機型募金箱

「ハートフルベンダー」設置協力店を募集



おつりなどを赤い羽根共同募金に募金できる機能が付いた自販機「ハートフルベンダー」を設置協力していただける店舗・企業などを募集します。お店の自販機と一緒に設置、社内自販機として設置など。設置に費用はかかりません(電気代のご負担をお願いします)。募金された金額は、区内の社会福祉活動に使われます。



ばわわ
介護日記

ばわわ
子育て日記

No. 15 **知らぬ間に子どもに伝えてしまうもの…。**

子どもの顔というもの。それは、最初に両親が遺伝的要素として与えたものであると思う。日々表情は変わり、両親のどちらに似ているかもくるくると変化する。でもそれは最初だけのこと。うちの娘はすでに6才。現在の娘の顔は娘が自分でつくった顔である。私から見ると、どこがどちらに似ているのか分からない。やはり子どもは自分のコピーではないので、オリジナルの独立した存在なのだ。しかし、久しぶりに会う友人は、顔ではなく言動が似ていると言う。行動パターン、返答の仕方、言葉遣いも同じらしい。う～む…。そうかもしれない。「親の背中を見て子は育つ」とはよく言ったものだ。現在私は言葉の間違った使い方を主人に注意されることがある。「子どもにうつるから止めなさい!」と。しかし、思い返せば私も、親が言葉を間違っ使用のを笑顔で注意していたはずなのだ。知らぬ間に、私にその間違いが伝染してしまった様子。一体いつからなのだろうか…。このままでは、娘に伝染してしまう!! 日々親として気を付けなければならぬのである。こうした誤ったつながりには注意しましょうね!(みとりん)



No. 7 **人とのつながりを維持するために**

認知症のKさんご家族が外出先から当施設へ帰るため、タクシーに乗りました。Kさんご家族がタクシーに乗るたび、「この人は突然声を発するので驚かないでくださいね」と認知症のKさんのことを事前に説明することだそうです。運転手さんが認知症について知っていたら、どれほど安心で気楽であるかと言います。認知症という病気になった方は、脳の機能の障害により、突然大声を出すような不穏な行動をしたり、知人の顔を忘れてしまうこともあります。これが原因で今までの友人関係などを失ってしまうことは残念です。私たちは人との「つながり」の中で生きています。認知症の方の介護は、その「つながり」を維持するための支援であることが大切です。まだまだ知られていない「認知症」についてみなさんに知っていただくことが、「つながり」維持の第一歩となります。誰にでも認知症になる可能性があります。認知症の方が安心して暮らせるまちづくりのために、認知症の方へのご理解とご協力をお願い申し上げます。(モカ)



たくさんのご応募ありがとうございました!

今回、その中から選りすぐりの7点を選ばせていただきました。

くすね縁 笑ってからあそぶ 今がある シゲノ・マサコさん

秋火照る すだれのやうな つるし柿 井上まさん

50年 年賀状で つながりし 宮田ゆり子さん

天白の 井戸端

手をあげて 渡る園児 まじめ顔 ますこさん

地球から 月までつなごう 飛ぶ「かごや」 古澤義夫さん

今年のお題 「つながり」

アンターネットだ 年寄りて 皆笑う 守之助さん

思い出を つなまかせて 編むベスト はらべこあおむしさん

次回のお題 「旅立ち」
皆さんからの投稿をお待ちしています。
締切:2月1日(金)
〒468-0015 天白区原1-301
原ターミナルビル3階
天白区社会福祉協議会「ばわわ」川柳係
Fax:809-5551

「住みつけたくなるまち天白」を しゃきょうサポーター 募集!!
(賛助会員)

しゃきょうサポーターとは、天白区社会福祉協議会が行う「福祉のまちづくり」の事業を支援する賛助会員のことです。個人・法人問わず、どなたでもサポーターになっていただけます。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。 ※ホームページより申込書をダウンロードできます。

■個人 1口/1,000円(年額) ■法人・団体 1口/5,000円(年額)

お申込み お問合せ先

社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階
TEL:809-5550 FAX:809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページhttp://www.tenpaku-shakyo.com

善意の輪

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(平成19年8月1日から平成19年10月31日受付分 受付順)

- 八事東学区盆踊り実行委員会 様
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 山根ふれあいまつり 様
- 朝日新聞 天白・名央支部 様
- 伊藤 繁子 様
- NPO法人リョーピ社会貢献基金 様
- 匿名 2件

我が身を振り返り、孫の数が1人・2人・3人と増えてきて、人間の「つながり」をしみじみ味わっております。子どもの笑顔は癒しです。この幸せを皆さんに振りまきたい今日この頃です。(パヤリン)



協賛広告 募集!

天白を元気にする情報紙「ばわわ」に協賛広告を載せてみませんか?

発行部数 約**61,000部**

天白区社会福祉協議会

tel. (052) 809-5550 fax. (052) 809-5551
e-mail tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp